

平松 愛理 さん

■平松愛理さんプロフィール

シンガーソングライター。

1992 年『部屋とYシャツと私』がミリオンセラーとなり日本 レコード大賞作詞賞 、1993 年には第24回日本歌謡大賞放送 音楽プロデューサー連盟賞を受賞。平成のブライダルソングと して今もなお歌い継がれている。また 1995 年より阪神淡路大 震災復興支援のライブイベント「KOBE MEETING」を毎年開 催。その活動が認められ 2004 年には第1回越日観光文化祭の 日本代表としてベトナムにてライブを行い、2005年には神戸 大使に委嘱される。

神戸新聞「随想」にエッセイ連載中。アーティスト、文化人と して精力的に活動中。

市民公開シンポジウム

一あなたを守る優れた日本の医療技術一

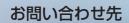
主 催:外科系学会社会保険委員会連合(外保連)

後援:厚生労働省、日本外科学会、日本産科婦人科学会、

日本産婦人科医会、日本乳癌学会、日本泌尿器科学会

日 時:2011年3月5日(土)14:00~16:00

会場:東商ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2)





PROGRAM Jujah

主催者挨拶

山口 俊晴 (癌研究会有明病院消化器外科部長 外保連会長)

特別講演「女性の病気が教えてくれたこと」

堤 司 治(山王病院院長)

愛理さん (シンガーソングライター)

シンポジウム・総合討論「女性の病気と付き合うには」

司 松下 隆 (帝京大学整形外科教授 外保連広報委員会委員長)

修(帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科教授 外保連広報委員)

遠藤登喜子(名古屋医療センター放射線科部長)

子宮筋腫 森田 峰人(東邦大学医療センター大森病院産婦人科教授)

子宮頸がん 悦子(横浜市立大学附属病院化学療法センター長)

子宮内膜症 堤 治 (山王病院院長)

西井

ひかる(東京女子医科大学東医療センター骨盤底機能再建診療部教授)



主催者挨拶

Ш□ 俊晴

癌研究会有明病院消化器外科部長 外保連会長

【略歴】	
10/18年	

北海道生まれ 1973年4月 京都府立医科大学研修医 秋田大学医学部 文部教官助手

米国テキサス大学(ヒューストン)留学(NIH奨励研究員) 1982年11月 京都府立医科大学助教授(第一外科) 1995年5月

2001年10月 癌研究会附属病院消化器外科 部長 2005年3月 癌研究会有明病院消化器センター長 消化器外科部長

2008年11月 癌研究会有明病院副院長

『最新化学療法レジメンー消化器癌』メジカルビュー社、2009年



特別講演司会·子宮内膜症

治

医療法人財団順和会 山王病院院長 国際医療福祉大学大学院 教授

【略	歴
195	0年

埼玉県秩父市生まれ

東京大学医学部医学科卒業 東京大学医学部産科婦人科教室 助手 東京大学大学院医学系研究科博士課程修了 東京大学医学部産科婦人科教室 医局長 199/年 東京大学医学部産科婦人科学教室 助教授 東京大学医学部附属病院分院産科婦人科講座 教授 1999年 東京大学医学部附属病院産科婦人科学教室 教授

2008年 医疗法人財団順和会山王病院 院長 国際医療福祉大学大学院 教授

日本産科婦人科内視鏡学会理事長·技術認定医 日本内視鏡外科学会 評議員·技術認定委員·技術認定医 中日友好病院(北京)名誉教授

入門婦人科腹腔鏡下手術」メジィカルビュー社 1996 「女性の病気と腹腔鏡」かまくら春秋社 2008 「産婦人科手技シリーズ① 腹腔鏡下手術」診断と治療社 2010



シンポジウム・総合討論 司会

帝京大学整形外科教授 外保連広報委員会委員長

mA	T	

1949年 鹿児島県生まれ 1975年 東京大学医学部医学科卒業

1991年 東京大学大学院医学系研究科 博士課程修了

1980年 産業医科大学整形外科助手 1982年 東京大学医学部整形外科助手 1990年 帝京大学医学部整形外科講師 1994年 東京大学医学部整形外科講師 1998年 帝京大学医学部整形外科主任教授 日本骨折治療学会理事長(2007年~現在)

【主な著書】

『難しい骨折・治療のこつ』中外医学社、1995年

『新しい創外固定Taylor Spatial Frame 実用マニュアル』メディカルレビュー社、2006年 『ガイドラインに基づいた診療の実際』南江堂、2009年

『SYMPOSIUM: Biomechanics of Bone Healing』Clin Orthop 467(8)、2009年 『骨折治療の要点と盲点』文光堂、2009年



乳がん

遠藤登喜子

名古屋医療センター放射線科部長

1949年 愛知単生まれ

1973年 名古屋大学医学部卒業 名古屋掖済会病院にて研修・内科勤務

1977年 愛知県がんセンター病院放射線診断部

1990年 名古屋大学放射線科

1991年 同 講師

1003年 同 助教授

1995年 国立名古屋病院放射線科部長

国立病院の独立行政法人化に伴い国立病院機構名古屋医療センター放

2008年 同 医療センター高度診断研究部部長併任 現在に至る

【主な著書】

マンモグラフィ画像読影ハンドブック(永井書店)2005年 診療放射線技師に知って欲しい画像診断 乳房(医療科学社)2006年 良性乳腺疾患アトラス (永井書店)(2005年) 乳腺外科の要点と盲点(分光堂)(2005年)



子宮頸がん

宮城 悦子

横浜市立大学附属病院化学療法センター長



横浜市立大学医学部卒業 1988年

1990年 臨床研修医を経て横浜市立大学産婦人科入局

1992年- 1995年 横浜市立大学大学院医学研究科在籍 学位(博士)取得 1995年 横浜市立大学医学部産婦人科助手(この間平成9年にカリフォルニア大

学サンディエゴ校派遣教員としてがんの基礎研究に従事)

1998年 神奈川県立がんセンター婦人科 医長

2001年 横浜市立大学医学部産婦人科講師

2005年 横浜市立大学医学部産婦人科準教授

横浜市立大学医学部産婦人科准教授

横浜市立大学附属病院化学療法センター長(現在に至る)

専門は婦人科腫瘍学(癌の浸潤、転移に関する基礎研究、細胞診断学、手 術、化学療法、集学的治療など全般)

【主な所属学会、役職など】

日本産科婦人科学会専門医、日本臨床細胞学会評議員、細胞診専門医、 がん治療認定医、日本婦人科腫瘍学会専門医、日本婦人科がん検診学会評議員 など



シンポジウム・総合討論 司会

西井

帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科教授 外保連広報委員

1981 (昭和56) 年 3月 1981 (昭和56) 年 6月 東京大学医学部医学科卒業 1981 (昭和56) 年 6月 東京大学医学部附属病院分院産婦人科研修医 東京大学医学部附属病院分院産婦人科文部教官助手 1998(平成10)年5月 1999(平成11)年2月 2001(平成13)年4月 東京大学医学部附属病院分院產婦人科講師 東京大学医学部附属病院女性外科講師

 2001(平成15)年4月
 東次大子医子部的周病院女性外科調師

 2003(平成15)年1月
 帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科教授
 現在に至る

【主な著書】 「産婦人科内視鏡下手術スキルアップ」メジカルビュー社、2002

「産婦人科医のための社会保険ABC」メジカルビュー社、2003 「最新版家庭医学大全科」法研、2004 「新全科家庭の医学」社会保険出版社、2004

| 利主社教庭の医子」社会保険出版社、2004 |今日の不妊治療」医歯薬出版株式会社、2004 |当直医のための救急マニュアル産婦人科編|エルゼピア・ジャパン、2004 |講義録 産科婦人科学」メジカルビュー社、2010 | 「専攻分野】不妊症、生殖内分泌、性感染症、内視鏡下手術、社会保険

子云の12mg」 3本産婦人科医会幹事長、日本産科婦人科学会社保委員、日本産科婦人科学会専門医制度委員、 日本産科婦人科内視鏡学会常務理事、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定制度委員、外科系学会 社会保険委員会常任委員、日本性感染症学会評議員、神奈川県産科婦人科医会学術部部員



子宮筋腫

森田 峰人

東邦大学医療センター大森病院産婦人科教授

1958年 三重県生まれ 1983年 東邦大学医学部卒業

東邦大学産科婦人科学講座入局

東邦大学医学部産科婦人科学講座講師

2004年 同助教授 2006年 同教授

『腹腔鏡手術スキルアップシリーズ 産婦人科2実践編』 ベクトルコア社、2008年 『産婦人科内視鏡下手術 スキルアップ』 メジカルビュー社、2010年

尿失禁

巴 ひかる

東京女子医科大学東医療センター 骨盤底機能再建診療部教授

【略歴】

1958年 横浜生まれ

1983年 東京女子医科大学医学部卒業、同大学院入学 東京女子医科大学大学院修了、医学博士学位取得

東京女子医科大学腎外科助手 1991年 東京女子医科大学泌尿器科助手

1999年 東京女子医科大学附属第二病院泌尿器科准講師

2001年 東京女子医科大学東医療センター泌尿器科講師

2011年 東京女子医科大学東医療センター骨盤底機能再建診療部教授

社団法人日本泌尿器科学会「女性泌尿器科医の会」委員長

日本排尿機能学会評議員·理事、日本女性骨盤底医学会評議員

【主な著書】

『尿もれ治療のわかる本』築地書館、2002年

『膀胱炎がわかる本』マキノ出版,2004年

『泌尿器科 専門医に聞く最新の臨床』(共著)中外医学社, 2008年 『排泄リハビリテーション』(共著)中山書店、2009年

『尿失禁と骨盤臓器脱の手術』(共著)メジカルビュー社、2010年